

ae 社協だより

はなまる



寄り添って笑顔のある毎日のために...

7月10日 おがわの学び舎「認知症講座」開催

伝田景光さん(認知症の人と家族の会代表)、
ハ木定男さん・二三子さんご夫妻の講演の様子。

最初に「おかしいな…」と異変に気がついたのは
二三子さん本人でした。

<< 関連記事：380-ジ >>

小川村地域包括支援センター

介護者の集い

令和元年、初めての介護者の集いは、伊豆野市明料にある「長峰ヤ荘」に行ってお参りしました。

梅雨空ではありましたが、緑が美しく感じられる中、お風呂やお料理を楽しんでいただきました。

日頃の介護の苦勞話や様々な工夫等の情報交換をあることができ、その中で、困ったり、怒ったり、落ち込むのは自分だけでは無い事に気づかされた事や、心も軽くなっていたかと思えます。

「介護をしていると、つい自分の事が後回しになってしまいがちですが、家から、介護から離れる事でリフレッシュできた」というご意見や、帰り道に寄ったスーパーでは「普段はなかなか行かれない。久しぶりにスーパーで買い物をした」と笑顔のご感想も頂きました。

主催側も、貴重なご意見を、ご参加を頂き、感謝しております。これからもお家族にも寄り添った支援ができるよう努めて参ります。

秋には二回目を開催予定です。



介護予防事業 すぐだしてみる会 では毎年小川小学校4年生との交流を年3回行っています。

今年度の1回目は6月28日(金)に行いました。当日は、20名の児童と一緒にカードゲームや囲碁、折り紙をしたり、子供たちがおじいちゃん、おばあちゃんのお顔絵を描いてプレゼントしてくれたりとお互いの交流を楽しみました。次回の交流は11月に予定しています。

すぐだしてみる会

～小4交流～



すごろく



もうすぐでゴールだね。



鶴の折り紙、懐かしい～!



折り紙



いきいき通信

7月10日、バスティ高府で今年度第1回 おがわ学び舎 認知症講座を開催しました。3年目になる今年は、認知症の人と家族の会代表：伝田景光さんと認知症の奥様を介護されているハ木定男さん、奥様のニ三子さんをお招きし、発症した頃のことや現在の生活などをお話していただきました。

ニ三子さんのお話の中で印象的だった言葉は、「認知症だからといって、何もできないわけではない」「普通に接して欲しい」「認知症は一人で生活できなくなる。周りの人に支援していただくかないと。」という言葉。

また、ご主人の定男さんからは、「認知症は病気だから本人もつらいし、家族もつらい」「男性が介護者になったら家事をしないとイケないので、男性は家事を覚える。特に食事は大事なので、真剣に取り組んだ」とお話がありました。

認知症は他の病気と違い、人間関係を悪化させる病気であるといわれていますが、不安や心配な気持ちがあっても、怒ったり、絶望しないで受け入れて一緒にやっという気持ちがあれば、ハ木さんご夫妻のように笑顔あふれる日々が過ごせるのだと感じました。

おがわの
学び舎
第1回

～参加者の声～

- すばらしい体験を聞くことができて良かったです。笑顔が大事で楽しく暮らしていかなければ。
- ハ木さんご夫妻の仲が良いと一番感じた。奥さんのできなくなったことを理解したこともすごい。ご主人の受容がすばらしい。
- 離れて暮らす家族、友人、近所とのふれあいがいかに大事なことが感じました。
- 当事者の正直な話が聞けて勉強になり、良かったです。
- もし、自分が介護する立場になったら構えてしまって自分を見失いそう。今日の話を聞いて心が軽くなった。
- ご本人が認知症と認めていることにびっくりしました。お二人の笑顔、ご主人の理解と思いやり、やさしさにふれ、とても勉強になりました。

- 家族間で家事を分担するよう心掛けていと感じました。
- 認知症の方や他の病気の方も支えてくれるやさしい方に恵まれると幸せだと思ふ。
- 笑顔を忘れず仲良く過ごしたいです。



デイサ～ビエだより

～ ひまわり作品
づくり・7月～



工作を楽しもうということ
ひまわりを作りました!



○サンリングに

沢山のひまわりが咲きました



おがわの学び舎支え合い講座の受講生が集いの場を開催しました

おがわの学び舎支え合い講座受講を
きっかけに「^{モン カフェ}mon café」という集いの
場を作ろうと決めました!と語る伊藤
千世子さん。伊藤さんは秋田県出身。一昨年
小川へ引っ越してきました。支え合い講座の
講師からの言葉がきっかけとなり、子どもから
お年寄りまでが集える場を提供したいと、
伊藤さんと仲間数名で企画・運営を行っ
ています。

第2回となる「mon café」には25名が
参加、有機野菜料理を食べながら交流
をしました。次回開催：11月3日です。

↙ 8月11日の様子



伊藤さんが「mon café」を開催するに当た
り、社協より他地域の事例や運営をする上
での現実的な事を教えてもらった事は助か
たし、相談できる場所があるのは心強いと
話してくれました。「定期的に開催したい」と
あてきな笑顔で思いを伝えてくれました。

令和元年度 赤い羽根共同募金

ご協力のお願い



赤い羽根共同募金は、
住民相互の“たすけあいの精神”
に基づき、法律に位置づけら
れている全国的に行われる募金

活動です。今年も**10月1日～12月31日**
までの期間に赤い羽根共同募金運動を実施
する計画です。

皆様からお寄せいただきまわ募金
は、県内の福祉施設や小川村へ
配分され、福祉活動等に有効に
活用されます。

～小川村での使いみち～
(昨年度、実績)

◆ 高齢者を対象にした音楽療法

◆ ボランティア推進事業

◆ 障がい者社会参加事業

◆ 小中学生の福祉・ボランティア 活動推進事業

◆ 社会福祉大会の開催



共同募金運動シンボルキャラクター
愛ちゃんと希望くん

募金受付窓口

- ・社協事務局
(サンリング1階)
- ・役場 住民福祉課



ご理解、ご協力
よろしくお願い致します。

募金機能付自動販売機

(ハートフルベンダー)

一年を通じて、
募金が出来ると自動販
売機です。ジュースだけ
の購入や募金だけの
利用も可能です。
小川村では平成二十
年より「道の駅」がわ
に設置しています。

あったか(♡)ハートバンク(♡)銀行 (R1.6.11~8.8)



- ☑ 匿名様... 7,000円
- ☑ 匿名様... 100,000円
- ☑ 匿名様... 切手
- ☑ 匿名様... 61,681円
- ☑ 匿名様... 男性用肌着、くつ下

～その他にも“ジャガイモ、キュウリ、キャベツ、いんげん、すいか、なす、トマト、冬瓜”など季節の野菜や果物をいただきました～
みなさまからのあったかいお気持ち、ありがとうございました♡

〈社協会費にご協力
してくださった法人様〉

(株) 松下ストア様



平成27年4月より
小川村社協内に
出張所が開設
されています

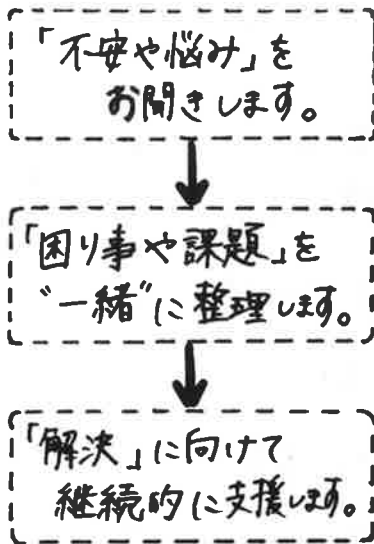
「生活や就労などでお困り・お悩み」の方

ご相談ください



お問合せ

- まいさほ出張相談所
(小川村社協内)
電話: 269-2255
有線: 4567
月曜～金曜(土日祝祭日を除く)
午前8時30分～午後5時15分
- 長野県生活就労支援センター
“まいさほ信州長野”
電話: 267-7088
場所: 長野市若里7-1-7
長野県社会福祉総合センター4階
月曜～金曜(土日祝祭日を除く)
午前9時30分～午後5時



仕事をしたくても見つからない、ひきこもり状態から抜け出したい、仕事が長く続かない、生活費が足りなくなってしまう、借金の心配がある、持病があり仕事や生活が不安...等ひとりや家族だけで悩まずに、まずはご相談ください。